



No.592  
3 分間  
税ミナール

令和5年6月21日

ヤマダ総合公認会計士事務所  
代表 山田良平

〒124-0012  
東京都葛飾区立石 1-12-11 ヤマダビル  
TEL:03-3694-6091  
FAX:03-3691-6680

## 3月の税収3兆4858億円 前年同月比0.2%増 消費税増で最多、所得税は減

財務省が令和5年5月8日に発表しました3月の一般会計税収は、前年同月比0.2%増の3兆4858億円でした。所得税の確定申告分が減少した一方で、消費税が増加しました。2022年4月から2023年3月までの累計は前年同期8.9%増の54兆7703億円で、補正後予算総額に対する進捗率は80.1%となりました。

税目別では、消費税が前年同月比5.2%増の1兆1516億円で最多で、前月に続き、円安や資源価格の高騰を受けて輸入価格が上昇し、税関での徴収が増えたことなどが影響したようです。

所得税は、確定申告分と源泉徴収分を合わせた全体で同4.2%減の9844億円でした。源泉徴収分は2月支給の給与額が増加し同5.6%増の4880億円、確定申告分は現金納付分が中心で、前年同月を下回り同12.3%の4964億円と低水準でした。ただ、2022年分の確定申告は国税庁が集計中で、振替納付分が反映される4月の状況も注目する必要があります。

法人税は同1.8%増の3151億円で、3月分は1月期決算法人の確定申告分と7月期決算法人の中間申告分、12月決算法人の還付金を中心となっています。相続税は2022年5月相続にかかる納付分と2022年分の贈与税の確定申告が中心で、同3.2%減の3778億円でした。

補正後の2022年度予算額は68兆3590億円で、3月までの累計では、消費税は前年度比7.3%増の17兆898億円で、進捗率は77.1%となり、国内の物価上昇などもありますが、貿易赤字の拡大が影響しているとの見方もあります。所得税は合計で同6.8%増の19兆894億円で、進捗率は86.7%となっています。

法人税は同22%増の9兆1713億3000万円、進捗率は66.5%と低調ですが、円安などが業績の上振れ要因となる商社や新型コロナウイルス禍の行動制限が緩和されて好調だった非製造業の通期決算を受け、税収目標は達成されそうです。

